

中学校第2学年 道徳指導案

指導者 観音寺市立中部中学校 美藤 純子

- 1 主題名 きまりは何のためにあるのか 内容項目 C(10) 遵法精神・公德心
- 2 教材名 「二通の手紙」 (出典:「中学道徳3」 光村図書)
- 3 教材について

(1) 人間が集まって社会が形成されると、個人どうしの利益がぶつかり合い、集団としてのまとまりがなくなる場面が出てくる。法や決まりは、この集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするため。さらに、自分や他者の自由や安全を保障するためにある。

人は時に、情に流され、規則を破ってしまうことがある。たしかに「思いやり」も生徒にとってはたいへん重要な価値項目である。ややもすると「二律背反」であり、人として他を思いやる心を重視する生徒もいるだろう。しかし、大事な局面で判断を誤ると、時には命にかかわることにつながりかねない。本教材では、このような人間の弱さを自覚しつつ、規則の意義をしっかりと理解させることで、それを守って行動する判断力の素地を養いたい。

(2) 本学級の生徒は、男子21名、女子15名である。明るく穏やかな雰囲気、自分の考えを発言する生徒も多い。しかし、深い考えがないまま発言したり、その場の受けを狙った発言をしたりする生徒もいるので、しっかり考えさせ、働くことについて他者の意見にもじっくり耳を傾けられるようにしたい。

現在は、一か月後の職場体験学習に向けて、働くことについて学習を重ねている。1学期の校外学習では吉原食糧に行き、実際の職場を見学した。まだ将来の生き方について漠然としか想像できなかったり、将来の夢や希望を描けなかったりする生徒も多いが、会社訪問を通して、社会の一員としての自分の役割や責任の自覚が芽生え、自分の人生や生き方への関心が高まったようである。

4 授業の見どころ

①本教材は、「動物園の入園規則」を題材に、規則の意義について理解を深めることができる教材である。生徒には、あらすじを簡単にまとめたものを提示し、予備知識なしに、この元さんの置かれた立場において、動物園に「入れる・入れない」について尋ねる。そして、資料を読んだ上でどのように考えが変わったか、もしくは変わらなかったかを確認する。その変容のポイントになったものこそが、自分が何らかの判断に迫られたときに重視しているものであると考える。

②グループでの話し合いでは、すべての意見を採り上げながら、決まりについて深く考えるとともに、真の優しさとは何かについても考えさせたい。そのために、一時の優しさがどのような結果をもたらす可能性があるかを想像させる場面を意図的に設ける。

なお、本時は規則の意義を考えることをねらいとしているため、「遵法精神、公德心」と「思いやり、感謝」を対立的に扱わないように気をつけたい。

5 本時の学習指導

(1) ねらい 元さんが、姉弟が動物園にやってきた場面に戻れたと仮定して、元さんが姉弟に対してどうするかを役割演技することを通して、規則の意義を守ることの大切さを自覚し、進んできまりを守ろうとする実践意欲と態度をもつことができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・活動	予想される生徒の反応	教師の支援および評価
<p>1. 自分が元さんの立場なら動物園に入れるか考える。</p> <p>指導の重点項目①</p> <p>2. 教科書の資料を読み、改めて元さんの立場になって考える。</p>	<p>・入れる人(入れない人)が意外と多いな。</p> <p>・姉弟は閉園時刻になっても出てこなかったのか。</p> <p>・動物園の職員も総出で搜索したのだな。</p>	<p>・挙手で入れるか入れないかを尋ね、人数を確認する。</p> <p>・範読は教師が行う。</p> <p>・再度入れるか入れないかを尋ね、変容を見る。</p> <p>・名前カードを黒板に貼り、意思表示する。</p> <p>・変容した生徒には理由を聞く。</p>
<p>元さんが「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。</p>		
<p>指導の重点項目②</p> <p>○元さんが「この年になって初めて考えさせられた」のはどんなことだったのか。</p>	<p>・よいことをしたのだから処分されても悔いはない。</p> <p>・母親からお礼状をもらったのだから、やはり入れてよかった。</p> <p>・本当の優しさとは何だろう。</p> <p>・優しいだけではいけない。</p> <p>・物事には責任が伴うものだ。</p> <p>・ルールを守らずによいことをしても、それは悪いことをしているのと同じだ。</p> <p>・子どもを大切に思うからこそルールを守ることが大切だ。</p> <p>・感情的にならずに正しい判断をする。</p>	<p>・グループで意見を共有し、出た意見を短冊に書かせる。</p> <p>・短冊は教師が「優しさ」「責任」「ルール」など大まかに分類しながら黒板にテンポよく貼る。</p> <p>・「すがすがしい表情」「お礼状もらった」という言葉から、ルールを破ったことを肯定する意見が出た場合、姉弟の命にかかわっていた場合のことを想像させる。</p>
<p>3. 感想を書く。</p> <p>○規則は何のためにあるのだろうか。</p>	<p>・いろいろな危険や争いごとを、未然に防ぐためにある。</p> <p>・自分や他の人の生活や権利を守るためにある。</p> <p>・規則を守る側の人々のことを考えたものである。</p>	<p>・動物園の規則だけでなく、社会のさまざまな規則に目を向けながら、一般化して考えさせる。</p> <p>・規則の意義を考えたあと、どのような考え方で生活していくことが大切か、自分なりの考えをもたせる。</p> <p>・時間があれば、感想を数名指名して読ませる。</p>

(3) 評価

主人公の思いやクラスの話し合いを通して多様な考えにふれ、規則の意義や、それを守ることの難しさ、大切さなど、さまざまな側面から考えようとしているか。